

第2回定例会

・審議した議案②

■国民健康保険税条例の一部改正
平成30年度の国保制度改正により、全道的な保険税の平準化のため、国保税条例の一部を改正するものです。

■町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
3年に1度の介護報酬の改定に併せて、国の基準も改正が行われており、本町の両サービスの事業の一般原則として「利用者の人権の擁護、虐待の防止のために必要な体制の整備を行い、その従事者に対して研修を実施する等の措置を講じる」といった条文の追加などによる改正です。

■牧野の設置及び管理に関する条例の一部改正
町有牧野7箇所のうち、現在使用している栃木、中園、

北の3牧野と、予備牧野として若里円山牧野を残し、以前から休牧中の大成、武士、仁倉の3牧野を廃止するための条例改正です。

■財産の取得
平成22年10月の運行開始から10年以上経過するふれあいバスの車両本体の劣化状況や、人口減による路線変更などを考慮し、順次計画的に更新すべく、バス(知来・仁倉線)を購入しました。

①取得する財産
◎三菱ふそう ローザ (29人乗りマイクロバス)
②取得価格 1,051万円
③納入期限 令和3年11月30日
④取得の方法 随意契約
⑤売買の相手方
佐呂間町字西富94番地の6 有限会社 宇野自動車整備工場
代表取締役 宇野利喜生



現在のふれあいバス(知来・仁倉線)



その他

【答弁】現在行っている65歳以上の方の新型コロナウイルスワクチン接種予約を、5月6日から10日間、保健福祉課保健推進係にて電話4回線に対応しましたが、その間の午前中は電話が鳴り止まず、繋がらないといった苦情も数件あり、今後の64歳以下の方(約2500人)の予約業務と接種業務を並行して行うのは困難であると判断し、ワクチン接種コールセンター業務委託料等の補正予算を専決させていただきます。

◎専決処分について
【質問】4月28日の臨時会や本定例会にて補正予算を計上せず、その間で急ぎ専決処分した理由はなぜか。



議案質疑の中から

第2回定例会

・審議した議案①

第2回定例会が6月16日から17日の間で開催され、議案10件、承認1件、報告1件、意見書5件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

審議した議案

■令和3年度一般会計補正予算(第3号)
5202万円が追加され、予算の総額が53億3954万円になりました。

【主な歳入】
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1054万円
・畑作構造転換事業補助金 1684万円
・財政調整基金繰入金 2199万円

【主な歳出】
・高齢者施設等職員PCR検査業務委託料 1650万円
・畑作構造転換事業補助金 1684万円
・宿泊業活性化補助金 1050万円

◎畑作構造転換事業補助金について
【質問】事業内容の一つに「ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付け割合の増加」とあるが、数年前に斜網地区で被害が出た病害虫の事で間違いないか。
また、この補助金を利用して、今後この品種を増やしていくという事でよろしいか。
【答弁】シストセンチュウの被害は全道的にもありましたが、イモに付く病気で、完全に無くなる事がなく、防除策も無いのですが、この病気にうつりにくい抵抗性品種があるため、それらに転換してい

条例

■個人情報保護条例の一部改正
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
国において「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が改正されたことに伴

く事で感染を防ぐ事を目的としています。
また、本町においても毎年この病気の調査を農協で行っており、仮にこの病気が出てしまうと、今後も畑に病気が残ってしまうので、徐々に転換していきたいということで成果目標にて作付面積を6%以上増加しております。

い、表題の2つの条例に引用している規定を改正するものです。
また、個人情報保護条例において、オホーツク町村公平委員会における情報公開関係規則の整備及び国におけるデジタル庁設置法の成立に伴い、条例の一部を改正するものです。

■手数料条例の一部改正
国において「行政手続法」における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が改正されたことに伴い、町が徴収する手数料について削除が必要ことから、条例を改正するものです。
■国民健康保険条例の一部改正
国による「新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、新型コロナウイルス感染症の定義部分が改正されたことにより、条例の一部を改正するものです。

町内の高齢者施設・医療機関でのクラスター感染防止策
施設従事者が安心して働くためのPCR検査料を補正

第2回定例会

・町長行政報告

第2回定例会

・審議した議案③

報告

令和3年度第1回定期監査報告書

令和2年度会計の定期監査が5月10日から19日までの内6日間実施され、その結果について監査委員から、適正に処理・運営されていたとの報告がありました。

繰越明許費繰越計算書

令和2年度一般会計から、次の事業分が令和3年度に繰り越しになりました。

- ・高度無線環境整備推進事業 3億7287万円
- ・水産業競争力強化緊急施設整備事業 1億9051万円
- ・学校保健特別対策事業費交付金 320万円

意見書

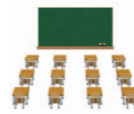
2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
北海道最低賃金が上がらなければ、コロナ禍にあってその生活は一層厳しいものとなり、個人消費にも影響を与え、北海道経済の停滞をも招きかねません。

よって北海道労働局及び北海道地方最低賃金審議会による令和3年度北海道最低賃金の改正にあつては、大幅な引き上げをし、道内高卒初任給の時間単価を下回らないこと、各種助成金を有効活用した最低賃金とすることなどを要請する意見書を可決し、関係機関宛に提出しました。

2022年度地方財政の充実・強化を求める意見書
コロナ禍によつて、地方自治体は多くの行政需要が発生し、ワクチン接種体制の構築、防疫体制の強化、新しい生活様式への変化を余儀なくされた住民への課題に即時に対応しなければなりません。政府においては、新型コロナウイルスへの対応により巨額の財政出動が行われ、地方財源の確保が不安視されています。

よつて2022年度の政府予算と地方財政の検討に当たり、歳入、歳出の確かな見積りと地方財政の確立を目指すよう政府に対し10項目の実現を求める意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
義務教育費の国庫負担は2006年に2分の1から3分の1に変更されていますが、教職員の安定的な確保のために2分の1に復元することが重要です。



また、子ども達へのきめ細かな教育を実現するために、早急に30人以下学級にし、さらに実質的な教職員の増が必要で、よつて義務教育費国庫負担制度の堅持、負担率2分の1の復元、30人以下学級の実現などについて要望する意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。

コロナ禍による地域経済の活性化と農畜産物需要喚起対策を求める意見書
新型コロナウイルス感染症の拡大で、各種イベント事業の中止や飲食業の利用者の大幅減など、地域経済の影響も深刻化しています。



コロナ禍の終息が見えない状況において、農業を基幹産業としている北海道の中で、農業者が安心して営農を継続できるよう、新型コロナウイルス対策の強化を図り、地域経済の活性化と農畜産物の需要喚起を求める意見書を可決し、関係大臣宛に提出しました。



林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
北海道の森林は、全国の森林面積の約4分の1を占めておりますが、本町をはじめ、道内各地域では、森林の維持や資源の循環利用に向け、植林、間伐、山地災害の防止など、さまざまな取組を進めています。

北海道の森林を将来に引き継ぐため、活力ある森林づくりや林業・木材産業の施策の充実・強化を図るよう、要望する意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。

町長行政報告(要旨)

■国勢調査人口

令和2年10月1日を基準として実施された令和2年国勢調査の人口が、本年6月1日に北海道の独自集計として公表され、本町の人口は5年前の平成27年国勢調査人口から483人減少し、4879人と集計されました。

オホーツク管内全体では総数27万3630人で、5年前から1万9912人の減少となっており、前回調査に引き続き18市町村全てが減少したという結果になっています。

■新型コロナウイルスワクチン接種状況

5月31日から町内65歳以上高齢者を対象に、1回目のワクチン接種を開始しました。6月14日までの予約人数は、施設入所者133人を除く対象者1866人中1587人の受付となり、85.01%の予約率となっています。

また、6月14日までの接種率は、726人が1回目の接種を終え、45.75%となっています。



ワクチン接種会場の静養ブース (5月31日撮影)

今後、6月25日までに65歳以上高齢者の1回目の接種が終了する予定であり、2回目の接種が6月28日から7月19日までの期間で実施し、接種が完了する見込みとなっています。

心配されております接種後の副反応については、発熱、接種部位の痛み等の報告を受けていますが、これまで重篤となるアナフィラキシー症状等は発生していません。

今後、64歳以下の住民の方たちのワクチン接種へ移行していきますが、準備ができた次第、順次接種券の発送等に取

■農作物の生育状況

この春は雪解けが早く、気温も高めで推移したことから、春まき小麦、大麦の播種作業は例年になく順調に進みました。また、ビートについても雪解けの早さから作業は早めに開始されましたが、4月後半からの天候不順により作業が遅れ、大豆やデントコーンの播種作業についても遅れが出ました。生育も遅れきみで、今後の安定した天候を願うところでありま

■町営牧場の入牧状況

5月14日と15日両日で入牧が行われ、5月末現在、3箇所の町営牧場で乳牛408頭が放牧されました。

■漁業の状況

外海はたて稚貝放流については、5月15日から5月27日までの10日間の日程を終了、7963万粒をD海区へ放流との報告を受けました。ほたて稚貝採苗については、オホーツク海及びサロマ湖内の海水温が平年よりやや低



■公共事業の執行状況

令和3年度に執行を計画する主な工事と委託事業の件数は62件で、総額6億9700万円を予定しており、現在の発注率は件数では58%、金額では48%となっています。